

商店街組合情報

街づくり・かごしま

三
角
文

《 CONTENTS 》

平成28年8月

| | | |
|---------|--|----|
| ■県振連の動き | 県振連 第42回通常総会開催 | 1 |
| ■全振連の動き | 全振連 第48回通常総会・都道府県振連役員研修会 | 2 |
| ■特集 | 商店街の未来を担う若手座談会の開催 | 3 |
| ■商店街の動き | 北田・大手町商店街(振)「はばたく商店街30選」に選定 | 9 |
| | 金生ウェーブ夏祭り、まちゼミ実践編開講(いづろ、金生、名山) | 10 |
| | おぎおんさぁ三番神輿 | 11 |
| ■お知らせ | 中小企業等経営力強化法が施行されました! | 13 |
| | 平成28年度予算「地域・まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)」の第2次公募について | |
| | 軽減税率対策補助金について、第58回中小企業団体九州大会 | 14 |

鹿児島県商店街振興組合連合会

鹿児島市名山町9番1号(鹿児島県中小企業団体中央会内)

TEL 099-223-2801 FAX 099-225-2904

第42回通常総会開催 平成28年度事業計画等を承認

当連合会は5月20日、鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」で第42回通常総会を開催した。

来賓の鹿児島県商工労働水産部の堀之内健郎次長、鹿児島市経済振興部の千堂和弘部長の挨拶に続き議事に入り、27年度事業報告・決算関係書類、28年度事業計画・収支予算等について審議し、全議案とも原案どおり承認可決した。

議事終了後、鹿児島県商工政策課の松原係長より鹿児島県の商業施策等について説明が行われた。

また、「はばたく商店街30選」の表彰を受けた北田・大手町商店街振興組合の前田理事長より活動内容について講話が行われた。



■平成28年度の主な事業計画は下記のとおり

1 県補助事業

- (1) 指導事業(組合指導、全振連の講習会・研修会への出席)
 - ①役員講習会 2回(東京都) ②職員講習会 1回(岐阜県)
 - ③青年部指導者研修会 1回(大阪府)
- (2) 商店街活性化支援事業(研究会) 3回(3組合)
- (3) 商店街人材育成事業(研修会) 3回(3テーマ)
- (4) 情報提供事業
 - ①街づくり・かごしま 年3回発行 ②会員への情報提供 通年

2 その他の事業

- (1) 国・県・市等が実施する商店街関連事業の推進支援
- (2) 商店街(任意組織)の法人化推進支援
- (3) 商店街交流事業
- (4) 九州・沖縄地区消費税軽減税率対策窓口相談等事業連絡会議の開催
- (5) 鹿児島県中小企業団体中央会の支援事業等の活用
- (6) 商店街が抱える問題についての要望・陳情等

全国商店街振興組合連合会 第48回通常総会・都道府県振連役員研修会

6月23日・24日に、第48回全振連通常総会及び都道府県振連役員研修会が東京都「アジュール竹芝」で開催され、河井理事長が出席した。



挨拶する坪井理事長

【全振連第48回通常総会】

全振連坪井理事長、宮本中小企業庁長官の挨拶の後、同庁経営支援部管内商業課長より「小売業・商店街の現状」について講話があり、引き続き議事に入った。

平成27年度事業報告、収支決算報告、平成28年度事業計画等全議案が原案通り承認可決された。また、都道府県振連代表者の交替に伴う役員補充が行われた。

【役員研修会】

1. 「サービスの時代と商店街」

株式会社マネジメントコア前田 代表取締役 前田進 氏

環境変化の激しい現代において、迅速かつ柔軟に対応し、商店街の多様な再構築を考える必要がある。一過性の事業発想から、コンセプトやビジョン、方針・戦略を重視し、顧客発想の考え方へシフトする必要がある。1980年代以降は、有形資源である製品そのものの価値に重きを置くG-Dロジックの考え方から、顧客の経験や価値、関係性などの無形資源を提供するサービス中心のS-Dロジックの考え方へ転換している。

S-Dロジックのポイントは①顧客価値（経験価値）、②価値共創、③相互作用、④互惠的関係性、⑤ネットワーク、⑥エコシステムである。

商店街はS-Dロジックの考え方の中において、価値共創のプラットフォームになり、個人や個店や地域社会が繋がっていくサービスを提供する新たな視点を持つ必要がある。

そのためには顧客や個店とコミュニケーションを密にとり、共同・連携によるリレーションシップを強化することが重要である。

2. 「電力自由化の現状」

経済産業省電力取引監視等委員会事務局 総務課 課長補佐 岩男健佑 氏

平成28年4月1日より電力の小売全面自由化が始まり、8兆円規模の市場が開放された。地元の電力会社に加え、グリーン電気や他地域の電力会社、通信会社、ガス会社等が提供する電気について自由に選べるようになった。様々な会社や料金メニューから選べるようになり、自由になった反面、高額請求を行う悪質業者や高齢者をターゲットにした口座振替詐欺等も発生しているため、国の登録を受けた小売電気事業者であるかを消費者は注意して契約する必要がある。

ビジネスの可能性としては、電気の販売業務の委託を受ける方法などが考えられる。

商店街の未来を担う若手座談会の開催

人口減少、高齢化、大型商業施設の乱立等、県内の小売商業者は大変厳しい経営環境に置かれています。そうした中、県下の商店街の若手経営者等にお集まりいただき、将来の商店街像についてそれぞれの想いや情報の共有を図り課題を整理することで、今後の商店街活動や街づくり、行政等への要望に繋げていくことを目的として、平成28年3月23日に鹿児島市の「ソーホーかごしま」で座談会を開催しました。

【主催者】

- ・河井達志 県振連理事長（座長）
- ・俣野公宏 県振連専務理事

【参加若手経営者】

- ・坂上昌平 一番街商店街振興組合（鹿児島市）
- ・青崎 裕 太平橋通り商店街振興組合 青年部（薩摩川内市）
- ・吉留大輔 宇宿商店街振興組合 青年部（鹿児島市）
- ・有村裕晶 天文館商店街振興組合連合会 青年部（鹿児島市）
- ・中山貴之 //
- ・有馬明治 //
- ・森山裕史 //
- ・川俣大輔 出水市中央商店街協同組合（出水市）
- ・大山 悠 こくぶ通り会連合会（霧島市）

1. 商店街の現状・課題等について

河井「まちづくり三法が施行されてから、日本中にシャッター商店街が増えました。日本の人口が減っていく中で、各商店街でもイベント等の様々な活動を行っていますが、活性化に向けた特効薬はないと実感しています。

今後、商店街が生き残っていくための価値ある取り組みはなにか、ぜひ次の世代である若手の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。」



河井 達志 氏

有村「天文館でもここ10年でシャッターを閉めている店が目立つようになりました。

行政と協力して、テナントミックス事業などを行いましたが、多くが3年くらいで閉店し、定着しませんでした。空き店舗対策はまるでいちごっこのように感じられます。



天文館は、鹿児島を中心市街地であり、地価も高くビルオーナーと交渉してもなか



太平橋通り商店街(振)
青崎 裕氏



天文館商店街(振連)青年部
有馬 明治氏



天文館商店街(振連)青年部
有村 裕晶氏



出水市中央商店街(協)
川俣 大輔氏



宇宿商店街(振)青年部
吉留 大輔氏

なか家賃を下げられないのが現状だと思います。

開業したい人が出せる家賃の額と、要求される家賃の額の不釣り合いが中心市街地の空洞化を招いているように感じます。

そのうちコンビニや全国チェーンの店舗が増え、特色がない、どこにでもある街になってしまうのではないかと危惧しています。」

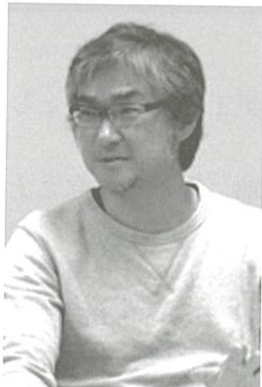


中山「私は、お店の経営者ではないが、商店街について日々考えることを生業としています。

近年、若い人たちが積極的にイベントに参加してくれる良い時代になってきていると感じます。空き家バンクやグリーンツーリズム等の様々な取り組みを行政と一体となって集約し、プロモーションして発信していける仕組みが必要ではないかと考えています。」

森山「私は天文館で開催するイベントを主に担当しています。イベントの時だけではなく、毎日商店街に人が訪れるような魅力あるまちづくりは何かを常に考えています。」

有馬「私は、天文館で宝石店を営んでいます。商店街の活性化のためには、商店街を構成する各店舗のモチベーションが無くてはならないと感じます。」



天文館商店街(振連)青年部
中山 貴之氏



一番街商店街(振)
坂上 昌平氏



こくぶ通り会連合会
大山 悠氏



天文館商店街(振連)青年部
森山 裕史氏

各店舗のモチベーションを上げるために、いづろ商店街(振)では事務局長が各店舗に直接足を運んで顔を見て話し、地道なイベントの案内や商店街の情報共有を行うことで少しずつ商店街活動に対する理解が得られ、一体感が出てきていると感じます。」

坂上「私は一番街商店街で衣料品店を営んでいます。中央駅周辺は、再開発が予定されており、良くも悪くも変化の時期にきています。中央駅に近く来街者も増加しているが、各店舗の売上増加には結び付けられていないのが現状です。再開発に伴い、いかに今の時代に即した形に変化していくかが商店街の生き残りの鍵を握っていると感じます。」

青崎「私は、薩摩川内市で飲食店を営んでいます。

薩摩川内市は若者が元気ないように思います。若者の元気を取り戻したいと3年前に青年部を結成し、現在は懇親会を通じて親睦を深めている状況です。

ハロウィン秋祭り等数千人の来街者があるイベントなども行いましたが、各店主が店舗を閉めて加勢したため、結局は売上増加に結び付きませんでした。

友人のSNSなどを見てみると、休日は大型店に行くのがトレンドになっているような風潮が見られます。」



大山「私は、10年ぶりに地元に戻ってきて現在まちづくり会社で商店街について学んでいるところです。

こくぶ通り会連合会では、最近まちゼミを実施しています。

初回は行政の助成金があり、参加率も非常に高かったが、2回目以降は参加料を各店から徴取したため参加率がぐっと下がりました。まちゼミの目的である「ファンづくり」のためにどれだけの費用をかけられるかは各店舗の経営状況により違ってくると感じます。」

川俣「私は出水市で飲食店を営んでいます。

出水市の中心商店街は既に淘汰されてしまい、多くの小売店舗が無くなってしまいました。そういう中で、商店街がまだ生きていることをアピールするためにイベント等の商店街活動に取り組んでいます。

イベントを開催する際、自主財源がないため協賛金を募ると予定の3倍くらいの募金があり、商店街以外の方々からは商店街に対する期待が大きいのだと感じています。

イベントの規模が大きくなるにつれて人手が必要になり、現在では商店街をどうにかしたいと思う人たちを中心に『本町通り商店街未来会議』を立ち上げ、商店街の行く末を考える取り組みを行っています。」



吉留「私は宇宿商店街で電気工事業を生業としています。

宇宿商店街では4年前に青年部を立ち上げ、毎月清掃活動を行い、SNS等での発信を続けています。イベントを行う資金として青年部の会員それぞれが5,000円ずつ出し、それを元手として更に協賛金を募り、街コンや宇宿の宴などのイベントを行っています。

イベントを行う際に、商店街にとってのメリットについてよく議論になりますが、商店街活動を通じて、人と人とが繋がっていくことが将来的な財産になると考えています。

そういった考えから、イベントだけでなく、NPO 法人等の団体や鹿児島ユナイテッドFC、中心市街地以外の他の商店街などと定期的に交流会も開催しています。」

2. 2040年に商店街はどうやって生き残るか？

河井「鹿児島県の将来推計人口を見ると人口減少は顕著に出ています。また、高齢者も毎年1万人程度増え続けています。こういった現状の中で、地方創生加速化交付金や世界遺産登録といった様々な要因の中から、商店街にフィードバックできるものを探し、どんどん取り組んでいってほしいと思います。」

2040年に向け、どの様な取り組みが必要になってくるだろうか。皆さんの意見を伺いたいと思います。」

森山「土地を有効活用するために商工会議所や商工会などが運営する店舗を一カ所に集約できないかと思います。」

有馬「私は商店街の中に住んでいます。昔は商店街の上に住居があり、人が住んでいました。商店街の上にマンションを建て、病院や学校等の生活に必要な施設を誘致し、街の中で生活する人を増やす取り組みがあると良いと思います。」

鹿児島県 2040年推計人口

| 市町村名 | 2040年推計人口 | 2010年人口 | 人口増減 | 増減率 | 2010年順位 | 全国順位 | |
|------------|-----------|-----------|----------|-------|---------|-------|-------|
| | | | | | | 2040年 | 2010年 |
| 鹿児島県 | 1,314,057 | 1,706,242 | -392,185 | -23 | | | |
| 1 鹿児島市 | 519,563 | 605,846 | -86,283 | -14.2 | 1 | 29 | 27 |
| 2 霧島市 | 111,767 | 127,487 | -15,720 | -12.3 | 2 | 206 | 222 |
| 3 鹿屋市 | 87,659 | 105,070 | -17,411 | -16.6 | 3 | 270 | 273 |
| 4 薩摩川内市 | 77,359 | 99,589 | -22,230 | -22.3 | 4 | 306 | 287 |
| 5 姶良市 | 62,931 | 74,809 | -11,878 | -15.9 | 5 | 374 | 379 |
| 6 出水市 | 40,695 | 55,621 | -14,926 | -26.8 | 6 | 527 | 495 |
| 7 日置市 | 37,866 | 50,822 | -12,956 | -25.5 | 7 | 557 | 538 |
| 8 奄美市 | 30,775 | 46,121 | -15,346 | -33.3 | 8 | 640 | 588 |
| 9 指宿市 | 29,635 | 44,396 | -14,761 | -33.2 | 9 | 655 | 602 |
| 10 南さつま市 | 24,133 | 38,704 | -14,571 | -37.6 | 12 | 735 | 664 |
| 11 南九州市 | 23,666 | 39,065 | -15,399 | -39.4 | 11 | 742 | 660 |
| 12 志布志市 | 23,165 | 33,034 | -9,869 | -29.9 | 13 | 755 | 745 |
| 13 曽於市 | 23,134 | 39,221 | -16,087 | -41 | 10 | 756 | 659 |
| 14 いちき串木野市 | 20,647 | 31,144 | -10,497 | -33.7 | 14 | 809 | 777 |
| 15 伊佐市 | 18,003 | 29,304 | -11,301 | -38.6 | 15 | 861 | 808 |
| 16 さつま町 | 15,445 | 24,109 | -8,664 | -35.9 | 16 | 914 | 884 |
| 17 枕崎町 | 14,572 | 23,638 | -9,066 | -38.4 | 17 | 929 | 893 |
| 18 阿久根町 | 13,590 | 23,154 | -9,564 | -41.3 | 18 | 958 | 902 |
| 19 屋久島町 | 11,058 | 13,589 | -2,531 | -18.6 | 23 | 1041 | 1127 |
| 20 西之表市 | 10,522 | 16,951 | -6,429 | -37.9 | 21 | 1066 | 1031 |
| 21 肝付町 | 10,357 | 17,160 | -6,803 | -39.6 | 20 | 1072 | 1022 |
| 22 垂水市 | 9,508 | 17,248 | -7,740 | -44.9 | 19 | 1099 | 1021 |
| 23 徳之島町 | 8,466 | 12,090 | -3,624 | -30 | 24 | 1136 | 1158 |
| 24 大崎町 | 8,433 | 14,215 | -5,782 | -40.7 | 22 | 1138 | 1110 |
| 25 湧水町 | 7,350 | 11,595 | -4,245 | -36.6 | 25 | 1192 | 1176 |
| 26 長島町 | 7,086 | 11,105 | -4,019 | -36.2 | 26 | 1202 | 1189 |
| 27 瀬戸内町 | 5,990 | 9,874 | -3,884 | -39.3 | 27 | 1247 | 1236 |
| 28 喜界町 | 5,777 | 8,169 | -2,392 | -29.3 | 31 | 1259 | 1306 |
| 29 中種子町 | 5,640 | 8,696 | -3,056 | -35.1 | 30 | 1265 | 1279 |
| 30 龍郷町 | 5,624 | 6,078 | -454 | -7.5 | 38 | 1266 | 1402 |
| 31 和泊町 | 5,460 | 7,114 | -1,654 | -23.2 | 32 | 1278 | 1356 |
| 32 知名町 | 4,946 | 6,806 | -1,860 | -27.3 | 34 | 1318 | 1366 |
| 33 錦江町 | 4,703 | 8,987 | -4,284 | -47.7 | 28 | 1329 | 1268 |
| 34 伊仙町 | 4,613 | 6,844 | -2,231 | -32.6 | 33 | 1334 | 1363 |
| 35 天城町 | 4,580 | 6,653 | -2,073 | -31.2 | 36 | 1338 | 1373 |
| 36 東串良町 | 4,562 | 6,802 | -2,240 | -32.9 | 35 | 1339 | 1367 |
| 37 南大隅町 | 4,184 | 8,815 | -4,631 | -52.5 | 29 | 1366 | 1275 |
| 38 南種子町 | 3,778 | 6,218 | -2,440 | -39.2 | 37 | 1396 | 1384 |
| 39 与論町 | 3,628 | 5,327 | -1,699 | -31.9 | 39 | 1404 | 1439 |
| 40 宇検村 | 1,350 | 1,932 | -582 | -30.1 | 40 | 1592 | 1614 |
| 41 大和村 | 1,070 | 1,765 | -695 | -39.4 | 41 | 1618 | 1625 |
| 42 十島村 | 464 | 657 | -193 | -29.4 | 42 | 1664 | 1670 |
| 43 三島村 | 303 | 418 | -115 | -27.5 | 43 | 1675 | 1 |

※国立社会保障・人口問題研究所の『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』

有村「商店街をもっとコンパクトにしなければいけないと思います。」



有村「いかに住みよい街にするかがポイントだと思います。」

あと、世界文化遺産に登録されたので、行政と連携して、外国人観光客や国内の方にもっと来てもらえる観光に優しい商店街になる必要があると思います。」

河井「観光客に、もう一泊追加してもらえるような取り組みが必要です。」

しかし、外国人観光客は外交や世界経済の状況で左右されやすく、中国人の爆買いもそろそろ終わりになってきています。」



有馬「観光客を期待してしまうと期待通りに来街しなかった時がキツイので、安定して来街がある施設の誘致を進めたいです。」

あと、今やりたいと思っていることは移動商店街のような取り組みです。天文館の知名度を活かして、保養施設などを訪問して靴の修理やお買い物をしてもらう取り組みも良いと思っています。」

中山「2040年を考えたとき、ここにいる全員がキーマンとなって、情報発信やコミュニティの中心となり、鹿児島の商店街を次の世代に繋ぐことが使命だと感じます。」



青崎「2040年の薩摩川内市の人口は約25%減少することが予想されており、若者を中心に減少するだろうという印象を受けます。」

現在でも若い優秀な人たちが県外の大学や就職先に流れてしまい、地方が力をなくしてしまっています。優秀な人が地元に残り、帰って来られる仕組み作りを行政と一

体となって行わなければならないと感じます。」

今の青年部を顧みると、まだまだ危機感を持っている人が少ないように感じます。まずは色々と勉強して、青年部のメンバーにも伝えていかなければならないと思います。」

大山「霧島市でも、若い人がいても都市部に仕事に行っている等、地域に根ざしていないイメージがあります。」

吉留「東京の鹿児島県人会に所属する若い人たちは鹿児島に帰りたいたいと思っている人が多いように感じますが、鹿児島では何となく押しつぶされそうなイメージがあってビジネスには向かないと言います。」

そういう人たちに、後押しできるような発信をやっていけば、もっと鹿児島に帰ってくる人は増えると思います。」



川俣「商店街がどうあれば生き残れるかを考える必要があると思います。地域の中で商店街をより身近に感じてもらうためには、教育機関との連携や、そこに行かないと買えない商品を揃えたり、人材を育成したり、外部との関係作りをして助け合ったり、地域全体でスクラムを組んで一生懸命に取り組まないといけないと思います。」

それができなければ確実に商店街は無くなってしまいます。」

吉留「近所の人々が元気にしているか、商品はど

うかなど、商店街には人・物・情報が溢れているから人は集まるのであって、商店街活動はその地域の核になり得る活動であると思っています。あれがない、これがないと不満を述べるのではなく、自分たちの地域にある魅力は何かをもう一度考え、シェアハウスのような若手経営者が出店しやすい支援策を考え、情報提供を続けていれば鹿児島にはもっと人が帰ってくるのではないかと思います。」

大山「通り会という形自体をもっと違う組織やコミュニティに変える必要があるのかもしれない。」

坂上「一番街商店街も再開発によって、商店街自体は残るであろうが、新しい役割は何なのかを見つけていかなければならないと思います。」

昔からある商店街の良さを残しつつ、新たな商品やサービスを開拓していくことが必要だと思います。自分たちの商店街だけではなく、鹿児島全体で見たときにこの地域に求められているのは何かを考える必要があります。」



3. 侯野県振連専務理事よりメッセージ



侯野「やる気がある若手の皆様が揃ったことをうれしく思います。」

今後、人口減少、高齢化が進むにつれて自動車の普及率は減少し、現在隆盛を極めている大型店舗の経営も現在のようにはいかなくなってくるのではないかと考えています。

そうした時に我々商店街が生き残っていなければ買い物難民が発生してしまいます。

自分たちの商店街を再度見つめなおし、いかにしてその商店街が生まれたのか、原点に立ち返って考える必要があります。

シャッターが閉まっている店を見たときに、ここにはいったい何が必要だろうと考えるのも一つだと思います。

商店街や連合会に属する人たちだけでなく、商店街を取り巻く他の組織や住民などの近隣も含めたものがコミュニティだと思います。そういった周辺の方々も巻き込んだ街づくりがこれからは必要なのだと感じています。

今後もし若い皆様方のご活躍を期待します。」

商店街の動き

●北田・大手町商店街振興組合「はばたく商店街30選」に選定！

5月25日、中小企業庁は、地域の特性・ニーズを把握し創意工夫を凝らした取組により、地域コミュニティの担い手として商店街の活性化や地域の発展に貢献している商店街を「はばたく商店街30選」として選定し、本県から鹿屋市北田町の北田・大手町商店街振興組合（前田数郎理事長）が選ばれました。

【取組の背景】

同商店街は北田銀座街として誕生し、昭和40年代にアーケードを設置し、以来商店街活性化や環境整備に取り組んできました。

その後、大型店舗の進出、人口減少等により中心市街地の衰退が顕著に現れ、アーケードの老朽化に伴う崩落の危険性など喫緊の課題を抱えていました。

【取組の内容】

来街者アンケート調査を行った結果、清涼感と潤い演出及び安心安全な環境に配慮した商店街が求められていることが分かりました。

そこで、「水と緑と文化が融合した人に優しい湧水商店街」をテーマに、アーケード（パーゴラ形式）改築、ナノミスト設置、LED街路灯設置、放送設備設置、防犯カメラ設置を実施しました。

また、本年1月には、商店街の回遊効果を高めるため、空き店舗において、街のにぎわいづくり協議会（鹿屋市が店舗運営を委託）、かのやんがーる（鹿屋市在住女性グループ）と連携した市民協働ショップ「KITADA SARUGGA（キタダサルugga）」をオープンし、本振興組合がビルの管理運営を行っています。

「KITADA SARUGGA」は「創業・起業を目指す女性や若者を支援・育成する拠点及び中心市街地の歩きたくなるまちづくりの活動拠点」をコンセプトとしており、地域社会への貢献が期待されています。

【今後の方針】

グリーンカーテンと併せて花の植え付けなどを行い、商店街の環境整備に努めるとともに、鹿屋市や街のにぎわいづくり協議会、まちづくり鹿屋などとの連携と市民の参加を得ながら、イベントやワークショップなどを開催するなど、来街者の増加、回遊性の向上に努め、商店街の活性化に取り組んでいくこととしています。



前田理事長と商店街のみなさん



ナノミスト・グリーンカーテン



「KITADA SARUGGA」

●金生ウェーブ夏祭り（金生通り商店街振興組合）

7月11日・12日の両日、鹿児島市金生町の金生通り商店街振興組合（瀬尾昭一郎理事長）が「金生ウェーブ夏祭り」を開催しました。

同祭りは、大国主神社の六月灯と併せて開催され、参拝者には御神酒が振る舞われました。

神社前に設けられた特設ステージでは、お祭りに参加した子供たちを対象に分かりやすくお金について学ぶ「税金クイズ」等のイベントが開催され、多くの来街者で賑わいました。

また、本振興組合が準備した屋台で組合員である金融機関の若手職員などが焼き鳥や飲み物を販売するなど、組合員が一体となって、大いに盛り上がりました。



大国主神社



大勢の市民でにぎわう祭りの様子

●まちゼミ実践編開講（いづろ商店街、金生通り商店街、名山町通り会）

7月28日・29日の両日、鹿児島市のいづろ商店街振興組合、金生通り商店街振興組合、名山町通り会が合同で、愛知県岡崎市のまちゼミの会代表の松井洋一郎代表を招いてまちゼミ実践編を開講しました。

まちゼミとは、各商店が講師となり、各店の専門知識や実技体験を受講者となるお客様に無料で提供する少人数制のゼミナールです。

お店の存在・特徴・店主のこだわりや人となりを理解してもらうことで、双方の信頼関係を構築し、「個店には新規客の獲得や売上向上」、「お客様にとっては満足や幸せ」、「街には発展や活性化」が図れる“三方よし”の商店街活性化事業で、現在全国の245地域で実施中です。

2日間で総勢58名が参加し、全国のまちゼミの開催状況や具体的な開催方法、集客方法などについて講義が行われました。

今後、「最終編」の受講を経て、平成28年10月1日から11月15日にかけて3通り会合同の「まちゼミ」を開催する予定です。



「まちゼミ」ロゴ



まちゼミ実践編を熱心に受講する参加者

おぎおんさあ 三番神輿

鹿児島市無形文化財の「おぎおんさあ（祇園祭）」が7月23・24日に開催されました。「おぎおんさあ」は悪疫退散、商売繁盛を祈願して、江戸時代から行われている伝統的な祭りです。今回は、天文館商店街振興組合連合会青年部が中心となって担いでいる三番神輿について、組頭を務める有馬明治さんにお話を伺いました。

写真提供：時任憲一郎

◎三番神輿について

おぎおんさあは、元禄時代から続く商売繁盛、無病息災、悪疫退散を記念した鹿児島市最大の夏祭りです。現在、一番から十番まである神輿の中でも三番神輿は天文館商店街振興組合連合会（天商連）青年部を中心として三番神輿保存会を立ち上げ、担ぎ手を募集し、本祭では総勢約200名が神輿を担ぎ上げます。

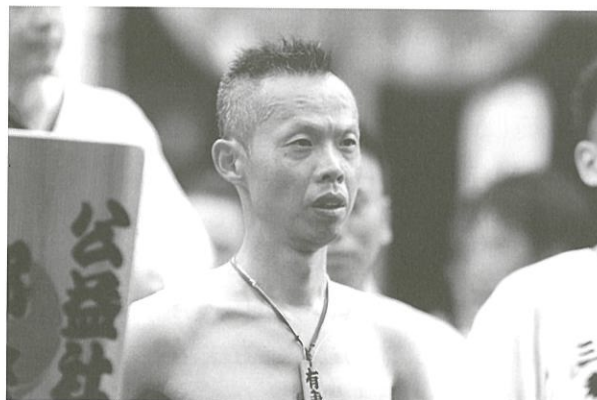
イメージ的に天文館の神輿だから、天文館の住民等でないと参加できないのかと思われがちですが、そんなことはありません。ここ数年は関東や北海道、さらに海外からも毎年三番神輿を担ぐためだけに必ず一家で鹿児島に来てくれる方もいるんです。神輿が好きだったり、天文館が好きであればどなたでもどんどん参加してもらいたいですね。

◎商店街にとっての三番神輿とは

一言で言えば、「天文館の絆のシンボル」だと思います。私も天文館で生まれ育ち、元気に商売もさせていただいている一人です。それは自分一人の力ではなく、これまで天文館を育ててこられた先輩方や仲間たち、お客様との絆で

成り立っています。そんな支えてくださる皆様への感謝の気持ちをお返しすることの一つが、「天文館の絆のシンボル」である三番神輿を威勢よく担ぎ、元気と笑顔を振りまくことだと思っています。

そうして神輿を担いでいると、沿道には人が溢れ、子供たちも「ソイヤッ、ソイヤッ」と声をあげ、車椅子のお年寄りが手を合わせて拝んでくださるなど、自然と神輿の周りには人の輪ができ、笑顔と元気が溢れかえります。神輿にはそんな魅力とパワーがあります。



組頭を務める有馬明治さん

商店街は、昔ながらの長屋のような繋がりがあり、パソコンや携帯メール、SNSが発達し

たとしても、直接顔を合わせて挨拶し、会話をしてコミュニケーションを図ることが基本であることには変わらないと思います。

自分のお店だけでなく隣近所と連携を取り地域を盛り上げていく、それが商店街活動の根源です。そのコミュニケーションツールの一つが神輿だと考えています。天商連青年部でお店を回りご協賛を頂くときに、「頑張ってるね」と声をかけていただき、顔を覚えてもらい、そしてまた別の活動の時でも連携が生まれていく。そういった好循環が神輿を担ぐ魅力ではないかと思っています。



盛り上がりを見せる三番神輿

◎一人一人が主役であること

今年は特に、組頭として参加する皆さん一人一人が主役！という想いがありました。

神輿には頭をはじめ担ぎ手、組頭、はなとり、台座、捌き方、給水等の役割があります。それは誰が偉いかではなく、神輿を安全に担ぐためにそれぞれ大切な担いがあります。各々がお互いを認め、信用し、担いを果たすことで、ようやく神輿は上がるのです。それは商店街も同じだと思います。お店の経営者、スタッフ、街に



一人一人が一生懸命担いで神輿を支える

やってくるお客様、誰が偉いわけでもなく、皆さんが主役であり、皆さんがいることで商店街は成り立つのです。そんなみんなが楽しんで輝ける神輿や商店街なんて素敵じゃないですか。

◎最後に一言

天商連青年部は天文館を盛り上げるべく三番神輿をはじめ色々な活動を行っています。10代、20代の方にもまずは神輿や頭、担ぎ手の粋な姿を見て、自分も肩を入れてみたいと思ってもらえたらうれしいです。みんなで力を合わせて担ぎ上げ、ケガなく、いい神輿を担ぎ終えた後の祝杯は最高ですよ！学生さんや天文館で働いている方、見物に来て興味を持った方などぜひ来年は一緒に担ぎましょう。ソイヤッ！



天文館のアーケード内を駆け抜ける三番神輿

堀之内 礼央 三番神輿の新頭より一言

歴代の頭が復活させ、繋げてきた三番神輿の魂・想いを後世に伝えていくことが私の使命だと意気込んでおります。



三番神輿は、人と人との繋がりを深め、広める活きた場であると感じています。

三番神輿の頭として若手の皆様と一体となって天文館を盛り上げていきます。

中小企業等経営強化法が施行されました！

平成28年7月1日施行 中小企業庁

労働人口の減少、企業間の国際的な競争の活発化等の経済社会情勢の変化に対応し、中小企業・小規模事業者・中堅企業の経営強化を図るため、事業所管大臣が事業分野ごとに指針を策定し、その取り組みを支援するための措置として中小企業等経営強化法が施行されました。

1. 事業分野の特性に応じた経営力向上のための指針

(例)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 卸・小売業……………イ. 経営状態の把握 | ロ. IT及び設備並びに物流効率化手法等の利用 |
| ハ. 営業活動の強化 | ニ. 人材育成の強化 |

※上記の中から、取り組む項目を選択し、計画を策定します。

2. 中小企業・小規模事業者等による経営力向上のための取組の支援

(1) 経営力向上計画の認定及び支援措置

中小企業・小規模事業者等は、人材育成、コスト管理のマネジメントの向上や設備投資等、事業者の経営力を向上させるための取組内容などを記載した事業計画（経営力向上計画）を作成します。計画の認定を受けた事業者は、機械及び装置の固定資産税の軽減（資本金1億円以下の会社等を対象、3年間半減）や金融支援等（低利融資、債務保証等）の特例措置を受けることができます。

(2) 認定経営革新等支援機関による支援

認定経営革新等支援機関（主に中央会、商工会議所、商工会、金融機関、工業等）による計画策定の支援を受けられます。

詳しくは、中小企業庁のホームページをご覧ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/>

平成28年度予算「地域・まちなか商業活性化支援事業（地域商業自立促進事業）」の第2次募集について

本事業は、商店街を基盤として、地域経済の持続的発展を図るため、地域住民等のニーズや当該商店街を取り巻く外部環境の変化を踏まえ、地方公共団体と密接な連携を図り、商店街組織が単独で、または商店街組織がまちづくり会社等の民間企業や特定非営利活動法人等と連携して行う6つの分野に係る公共性の高い取組を支援する事業です。

支援対象分野

1. 少子・高齢化 2. 地域交流 3. 新陳代謝 4. 構造改善 5. 外国人対応 6. 地域資源活用

補助対象事業

商店街等において、商店街等の中長期的発展及び商店街等の自立化を図る新たな取組を行うに当たり、その取組内容が地域住民等のニーズや当該商店街を取り巻く外部環境の変化を踏まえたものであり、当該商店街において自立的に継続して取り組む事業として施設やサービスの利用者数、採算性等を確認するために必要な調査・分析事業。

補助率（補助額）

2/3以内（上限額：500万円、下限額100万円）

詳しくは、中小企業庁のホームページをご覧ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/2016/160801machinaka.htm>

軽減税率対策補助金について

中小企業・小規模事業者消費税軽減税率対策補助金

平成28年6月1日、安倍内閣総理大臣は消費税10%への引上げ及び軽減税率制度の導入時期を平成31年10月とする旨を表明いたしました。軽減税率対策補助金の受付は継続しています。本補助金は、複数税率対応レジの導入や、受発注システムの改修等を行う経費の一部を補助する制度です。

A型 複数税率対応レジの導入等支援

軽減税率制度に対応するためにレジを購入したい。



A-1型 レジ・導入型

複数税率対応の機能を有するPOS機能のないレジを対象機器とし、その導入費用を補助対象とします。

使い慣れたレジを活かしたい。



A-2型 レジ・改修型

複数税率非対応のレジを、対応のレジに改修する場合の費用を補助対象とします。

タブレット端末のPOSレジシステムを入れたい。



A-3型 モバイルPOSレジシステム

複数税率に対応したレジ機能サービスをタブレット、PC、スマートフォンの汎用端末と付属機器を組み合わせ、レジとして利用する場合の導入費用を補助対象とします。

POSレジシステムを新たに入れたい。



A-4型 POSレジシステム

POSレジシステムを複数税率に対応するように改修または導入する場合の費用を補助対象とします。

今あるPOSレジシステムを改修したい。

B型 受発注システムの改修等支援

受発注システムを改修したい。



B-1型 受発注システム・指定事業者改修型

システムベンダー等に発注して、受発注システムを改修・入替する場合の費用を補助対象とします。

受発注システムのパッケージを自分で導入したい。



B-2型 受発注システム・自己導入型

中小企業・小規模事業者等が自らパッケージ製品・サービスを購入し導入して受発注システムを改修・入替する場合の費用を補助対象とします。

補助条件、補助率等詳しくは、軽減税率対策補助金事務局のホームページをご覧ください。

<http://kzt-hojo.jp/>

第58回中小企業団体九州大会のご案内

- 開催日：平成28年9月8日(木) 第一部13時～ 第二部13時40分～ 第三部15時～
- 開催場所：鹿児島市民文化ホール
- 大会テーマ：「組合と共に明日を拓く！～九州はひとつ、復興へ共に挑戦～」
- 九州大会記念講演会(第三部)：「星野リゾートの組織論～勝ち続ける組織への挑戦～」
星野リゾート 代表 星野佳路氏
(※星野氏の講演会にご好評につき満員となりました。)

